

最大 2万7千円の補助！

人間ドック・脳ドック検査費用の一部助成

市では、疾病の予防・早期発見、健康の保持増進のため、人間ドック・脳ドック検査費用の一部助成を行っています。

特定健診を受診した人も申請できます。健診と併用して、みなさんの健康管理に役立てましょう。

対象 受診日時点でつぎの要件のいずれかに該当し、助成申請時に保険税(料)の未納がない人

- ・満35歳以上の国民健康保険被保険者
- ・後期高齢者医療被保険者

助成額 上限2万7000円／1人

※人間ドック・脳ドックのいずれか1回のみ助成で、検査費用が上限に満たない場合は、その額を助成。

※後期高齢者医療被保険者は、同年度内に幸手市国民健康保険で、この助成を受けていない人。

申込み 医療機関から検査結果を受領後、保険年金課窓口で申請

申請期間 検査機関に検査費用を支払った日の属する年度内

持ち物 被保険者証、検査費用の領収書(本人宛)、検査結果(写しを取り原本返却)、振込先の預・貯金通帳

問合せ 保険年金課 ☎(43)1111 内線143
FAX(43)1125

※人間ドックとは、特定健康診査における健診項目をすべて含むものをいいます。
※脳ドックとは、磁気共鳴映像(MRI)、磁気共鳴血管撮影(MRA)などの画像診断を行うものをいいます。
※検査結果に応じて、食生活改善などの「保健指導」をご案内します。

交通安全ポスターコンクール入賞者

幸手市PTA連合会では、市内小中学生を対象に、「交通安全ポスターコンクール」を行いました。

特選・金賞を受賞した作品をご紹介します。(敬称略)



特選
長倉小 5年 竹村心咲



金賞
小学校低学年(1〜3年)の部
上高野小 1年 中村湊



金賞
小学校高学年(4〜6年)の部
上高野小 6年 秋元翔



金賞
中学生の部
東中 3年 関根真歩

問合せ 幸手市PTA連合会事務局 ☎(40)1289

火災予防ポスターコンクール入賞者

市立小学校の在校生を対象に「火災予防ポスターコンクール」が行われ、386点の応募作品から特別賞3人、入賞24人が選ばれました。特別賞を受賞した作品をご紹介します。(敬称略)



特別賞
市長賞
さかえ小 6年 松村瑞希



特別賞
危険物防火安全協会長賞
権現堂川小 5年 宇津木絆那



特別賞
消防署長賞
さくら小 4年 高橋椰央

特別賞・入賞受賞作品は、公共施設に展示します。

受賞作品展示日程(※各施設初日と最終日の展示時間は前後する場合があります)

- ・11月9日(火)午前～15日(月)午後
幸手市役所本庁舎1階ロビー
- ・11月16日(火)午後～25日(木)午後
ウェルス幸手1階エントランスホール

- ・11月26日(金)午後～12月3日(金)午前
幸手市コミュニティセンターホール
- ・12月3日(金)午後～10日(金)午前
幸手市東公民館展示ホール

問合せ 埼玉東部消防組合幸手消防署 ☎(42)9118・FAX(42)9117



■住宅用火災警報器の訪問調査について
幸手消防署では、住宅用火災警報器の設置状況を把握するため、消防職員が訪問調査を実施します。調査はインターホン越しなどによる簡単な聞き取り方式となりますのでご協力をお願いします。
■もしもの時は119番
市内の災害でも、いち早く災害現場に到着するために現場から最も近

い市外の消防車や救急車も出動します。
消防署の一般電話への通報ではなく、火災や救急などの災害時は「119番」への通報をお願いします。
消防署の問い合わせ、「火災か救急か」、「現場の住所は」、「目標物は」、「どのような状態か」、「通報している電話の番号は」には、ゆっくり、はっきり、落ち着いて答えるようにしてください。
消防署の問い合わせを最後まで聞き(勝手に切らない)、通話中でも災害現場と内容がわかりしだい消防車や救急車は出動します。
■住宅防火「命を守る7つのポイント」
▼3つの習慣
①寝たばこは、絶対にやめる。
②ストーブは燃えやすいものから離れた位置で使用する。
③ガスコンロなどのそばを離れるときは必ず火を消す。
▼4つの対策
④逃げ遅れを防ぐために住宅用火災警報器を設置する。
⑤寝具や衣類からの火災を防ぐために防災製品を使用する。
⑥火災を小さいうちに消すために、住宅用火災警報器を設置する。
⑦お年寄りや体の不自由な人を守るために、隣近所の協力体制を作る。